

PMT

冷凍倉庫対応口ボツト

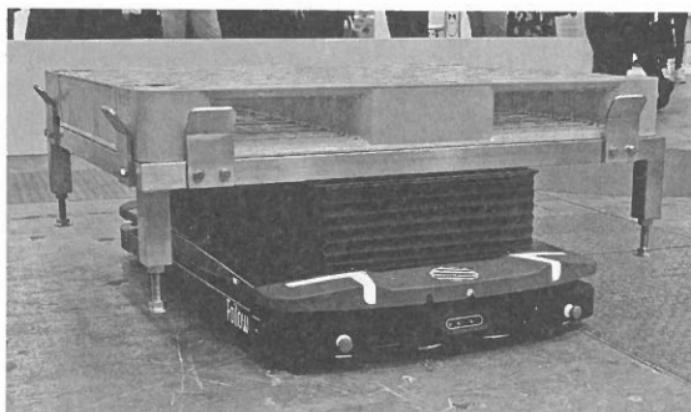
日本食品市場中心に導入を目指す

仮IoTボットメーカー「iLo」  
FOLLOW社の国内総代理店となるピーエムティー（PMT）は、冷凍環境対応AMR「iLo gistics」の国内販売を開始した。

i Logistics  
は約170ミドルの低床の  
メリットを生かし、さま  
ざまなタイプのパレット  
やカゴ台車をリフトアッ  
プして搬送できる自動搬  
送ロボット。保管から搬

送まで積み替えなしの省力メソッドが欧州市場で話題を呼び、導入実績は600台超。近年は仏大手物流会社GXOがドライ現場で45台導入した。AMRをはじめ、自律協働型ロボットなど、さまざまなロボットが物流現場で活躍する現在、PMTがターゲットとするのが冷凍倉庫だ。オプション機能となる耐寒カスタマイズを施すことで、

国内初というマイナス30℃の冷凍環境での稼働が可能となり、ほかのロボットと差別化を図る。独自温調機構で結露の心配がなく、冷凍・冷藏・常温域の3温度帯にまたがったエリアでの自動搬送も可能。上限温度は40℃、最大搬送荷重は300kgの3種をラインアップし、AC100V充電時間は3時間以内、最大稼働時



iLogistics

員が常駐するピ  
ステーションま  
を搬送するGT  
o d s t o p  
n ) も提案。  
食品をはじ  
めとした冷凍  
現場など、過  
酷な環境での  
ロボット化は  
潜在需要が高  
い。長時間作  
業が困難な場  
所の自動化や  
24時間365  
稼働で、20  
24年問題や  
国内の労働力  
不足問題の解決策として  
i Logistics  
は現在、日本国内での冷  
凍現場環境で実証を重ね  
ている段階だ。同社は半  
導体・エレクトロニクス  
の分野の超精密部品など  
の加工・切削などのノウ  
ハウを生かし、スタッカ  
ー・台車専用スロープな  
ど、ユーザの仕様環境  
に応じたアタッチメント  
や周辺機器のカスタマイ  
ズも請け負う。同社はク  
ロスソリューションプロ  
バイダーを標榜、技術と  
技術、人と人を掛け合わ  
せるソリューション提供  
を目指す。